

# 小規模多機能型居宅介護 どんぐり倶楽部

## サービス評価 結果

自己評価のミーティング 令和7年12月2日

運営推進会議 令和8年2月9日 実施

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	8人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回の利用、契約時に趣味や好みに関わる物について写真を撮らせて頂きファイリング。職員間で回覧し情報共有を行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>初期支援においては、利用開始当初の不安を軽減するための声かけや気遣いが職員間で意識されており、本人が環境に慣れるまでの関わりや、家族・介護者への配慮についても概ね適切に行われている。</p> <p>一方、前回の改善計画で掲げた、趣味や好みに関わる情報を写真等で共有する取り組みについては、契約時の時間的制約や初期段階での情報収集の難しさから、十分に実施できていない状況が見られた。基本的な情報共有は行われているものの、本人らしさをより深く理解するための工夫については課題が残った。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		2	8		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5	3	2	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	5	2	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		10			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者さんに対しての声かけは心掛けている。</li> <li>新規利用者の情報は回覧等で情報共有出来ている。</li> <li>生活の中で困っている点を伺い、必要なサービスを提案している。</li> <li>利用開始されたばかりの頃は慣れてもらうのに声掛けをしている。</li> <li>利用前にフェイスシート等を通して回覧し、共有出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味や好みに関わるものについて写真でファイリングはあまり出来ていないように感じる。</li> <li>契約時の写真撮影。(理由：契約で1時間以上かかってしまい時間的余裕がない。初回訪問でそこまで情報収集が追い付かない。認知症が進行しているケースの相談が多く趣味等の活動が少ない。(TV、家の中を歩いている、寝てばかり等)</li> <li>①利用開始前にミーティングしていない。</li> <li>趣味、好みまではまだ共有出来ていない。(理由：どんぐりの他のサービスを利用していれば職員が見たりしているが、新規の場合わかる情報が限られている。)</li> <li>趣味や好みに関わる物の写真というより、ケアに必要なことを分かりやすくする為に写真を撮りご利用者の個人ファイルで共有している。(例：自宅で服薬支援を行う際の服薬カレンダーや設置場所等)</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用開始後の関わりの中で段階的に知りえた情報を職員間で共有し、個人ファイルの本人情報の更新・支援の変更を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	0人	1人	10人

前回の改善計画  
・居宅プラン、小規模プランの閲覧環境の充実。居宅プランは個人ファイルにて小規模プランは一覧ファイルにて管理を行い、手に取り確認しやすいようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
「～したい」の実現に向けた支援については、居宅プランおよび小規模プランのファイリング方法を見直し、閲覧しやすい環境づくりが進められている点は評価できる。プランを一覧で確認できることで、情報へのアクセス性は向上する結果となった。  
一方で、プランの内容が画一的になりやすく、現場で手に取って活用する機会が十分でないことや、ミーティングが事務的な連絡に留まり、個々の目標に基づいた振り返りや検討につながっていない点が課題として挙げられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	5		1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	4	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	3	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	3	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・プランを確認しやすいように作成時にはファイリングするようにしている。  
・小規模プランは一覧ファイルで一括でまとめられている為閲覧しやすい。  
・一覧ファイルで管理されたので閲覧しやすい。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・サンプルプランの内容のまま画一的な内容になってしまうことがある。  
・プランが現場にあっても手に取る機会が少ない。  
・ミーティングの内容が事務的な連絡事項になり個々の対応の検討に繋がらない。(理由: 目標の解決を目指した対応をする意識がない。)  
・ご利用者の担当がプランを詳細まで把握できケアの提案が出来るとよい。(理由: ご利用者担当は、職員やご利用者の入れ替わり等で変動が多い。タイムリーに担当調整が行えていない。)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
本人の「～したい」という目標を意識した関わりと、プランを活用した具体的な支援の振り返りを定例会議にて行うことで、より個別性のある支援につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画  
 ・初回利用までに確認しきれない事を日々の関わりの中で得た情報でアップデートし、定例会議や連絡ノートを用いて情報共有や対応検討を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 日常生活の支援については、日々の関わりの中で得た情報を連絡ノートや定例会議等を通じて共有し、体調や状況の変化に応じた対応が概ね行われている点は評価できる。特に体調変化や生活状況の大きな変化があった際には、早期に情報共有し支援内容を調整する体制が整っている。  
 一方で、本人の「以前の暮らし方」についての情報把握には個人差があり、十分に整理できていないケースが見られる。また、ミーティングにおいて本人の声にならない思いや背景を踏まえた検討よりも、対応方法の確認に留まっている点は課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	2		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?			9	1	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	1		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		3	6	1	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	3		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・体調の変化に応じて対応を変更したり、利用の変更をし早めに対応出来ている。変更時は連絡ノートや職員間の伝達で情報共有出来ている。 ・知りえた情報については適宜共有をしている。  
 ・本人の様子や言動は日誌に残すようにしている。 ・体調等は温度板を活用し共有出来ている。  
 ・入退院時等、状況が大きく変化する場面では特に対応方法や心身状況の情報共有を行っている。例えばトロミを付ける対応に変化した場合連絡ノートで共有する他に食事札に「トロミ」等の情報を記載する。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・ご本人の「以前の暮らし方」については情報が少ない方もおり、10個以上は把握できていないと思う。(理由：キーパーソンの方がご本人の事をどれだけ知っているかによって得られる情報量にムラがあったり、本人が日々のコミュニケーションの中で教えて下さる情報も利用者によって様々でムラがある。  
 ・本人視点での③に関する検討は行えていない。「どう対応するか」に焦点を合わせてしまう事が多い。(理由：些細な様子の変化を軽視しているのではないかと)  
 ・①に関しては送迎に行っても家に入らない方もいるのでそこまで把握できていない。  
 ・ご利用者の状況、環境によっては10以上も集めることは出来るが、個人差がありムラが生じている。設問の「10個以上」という数字に対しノルマのように感じますが何か根拠や特別な理由があるのでしょうか。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 本人視点での気づきを大切に、日常の小さな変化も含めて情報を整理・共有する。連絡ノートと定例会議、少数でのタイムリーな意見交換等を実施しスムーズに対応することを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日(14:00 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	2人	10人

前回の改善計画  
・小規模内で民生委員や地域資源に関する情報や職員の気づき等を共有し、チームとして適切なサービス検討を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
地域での暮らしの支援については、本人が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、通い・泊まり・訪問を組み合わせた支援や、家族・近隣住民の協力を活かしたサービス調整が行われている点は評価できる。また、必要に応じて運営推進会議や担当者会議を通じ、地域の関係者から情報を得る取り組みも見られる。一方で、サービス介入がない時間帯の生活状況や、民生委員・地域資源に関する情報共有については十分とは言えず、利用者ごとに把握できている情報量に差が生じている。特に独居ケースでは、地域とのつながりや日常の様子を把握することに難しさがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	3	2	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	5	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8		2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	7	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・サービス過剰にするのではなく、家族や近所の方の協力があるケースは継続できるようにサービス調整している。  
・住み慣れた自宅で生活できる様、通いや泊まり、ヘルパーを組み合わせながら支援が出来ている。  
・独居の方でご近所に支援者が居るケースがあるが、担当者会議や運営推進会議等にもご参加頂いたりして、ご利用者の様子等を伺っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・サービス介入が無い時の生活まで把握しきれていない。  
・民生委員や地域資源に関する共有を行っていない。(理由:独居や家族があまり見ていない等、一人でいる時の様子が分かりにくい地域資源を入手する機会がない。)  
・本人のこれまでの生活スタイルや人間関係等は利用者によって情報量にムラがある。(理由:ずっと離れて暮らしていた家族などは本人についての最近の情報はあまり把握されていない事がある為情報が集めにくい。)  
・サービス介入時以外の生活は分からないことが多いが、独居ケースでは訪問や送迎時に詐欺被害を疑うような請求書等が無いが、必要以上の訪問販売等(例えば冷蔵庫に大量の在庫を抱え処理出来ていない等)を受けていないかを確認している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ご利用者を取り巻く環境等を職員間で共有し、活用されている地域資源等を把握していく。本人の地域での暮らしをより継続的に支える体制づくりを意識する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日(14:00 ~ 15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画  
・ご利用者、ご家族のニーズに応じた利用調整の実施と、それらに合った地域資源の活用を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
多様性ある柔軟な支援については、本人や家族の希望、日々の状態変化に応じて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせ、急な利用変更にも対応できる体制が整っている点は評価できる。また、事業所のみで抱え込まず、市や社会福祉協議会等の地域資源を提案するなど、外部との連携を意識した支援も行われている。一方で、家族のニーズが優先されることで、本人の思いや希望を十分に反映できていないと感じる場面があることや、本人と家族のニーズに乖離がある場合の目標設定や支援の整理に難しさが見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	4		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		4	6		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	8	1		10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7	3		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ご家族の希望やご本人の状態の変化に合わせて柔軟に対応できている。  
・利用希望を確認し極力意向に沿えるよう利用調整している。必要な方には市や社協のサービスも提案している。  
・CMを中心にFa(ご家族)のニーズに柔軟に対応している。  
・月の予定の他、急な利用変更にも対応出来ている。ご利用者の宿泊が無い日でもコール番をたて急な連絡に備えられている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ご家族のニーズ優先であり、利用者様本人のニーズを満たせていないことがある。(理由:利用者のニーズを満たす為には多くの支援が必要であり、実現が困難《頻繁なヘルパー、24時間の見守り等》)  
・ご利用者のニーズとご家族のニーズに乖離があることもあり両立出来ていないこともある。その場合の支援や目標設定等CMのプランニングが難しい場面があると思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ケアマネや介護職員が知り得た本人のニーズとご家族の思い、その調整を図りながら、可能なサービスの提案や柔軟に利用受け入れを行っていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	6人	10人

前回の改善計画	・ボランティアや地域協力を継続して行い、必要であればボランティアセンターへ連絡し必要なボランティアの依頼を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>連携・協働については、担当者会議の開催や、福祉用具事業所等の関係機関が参加する機会があり、必要に応じた連携は図られている。また、ボランティアの受け入れや文化祭等を通じて、地域住民が事業所を訪れる機会も一部見られる。</p> <p>一方で、自治体や地域包括支援センター、地域団体との会議や活動への参加は十分とは言えず、前回の改善計画で掲げたボランティアや地域協力の継続的な活用については課題が残っている。担当者が明確でないことから、積極的な取り組みにつながりにくい状況も見られる。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	3	5	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4	2	4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		2	3	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	4	5	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れ</li> <li>・担当者会議の開催</li> <li>・担当者会議等に福祉用具等の事業者が出席している。(福祉用具を利用している方) 文化祭などで地域の方が訪れる機会がある。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議等に参加する機会が少ない。</li> <li>・ボランティア依頼や地域団体の活動への参加。(理由: 担当等が決まっていない為、積極的な取り組みが行えていない。)</li> <li>・自治会や町内会の活動には参加出来ていないが駐車場などを提供し協力している。</li> <li>・事業所単位では少ないが、どんぐり村全体で呼ばれたボランティアの催しには参加している。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>昨年に引き続き、地域資源やボランティアセンターとの関係づくりを進めていく。事業所としての地域とのつながりがより深まる形を目指す。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	2人	10人

前回の改善計画  
・引き続き SNS を活用して情報を発信しどんぐり村の日常を伝えていく。また、災害時の連絡としてメールを活用するにあたり、家族様へどんぐり村のメールアドレスを公開する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
運営面では、文化祭の開催や SNS (Instagram や LINE WORKS) を活用して事業所の様子を地域や家族に発信し、意見や苦情を受け止めて運営に反映する仕組みが整っている点は評価できる。また、送迎時に家族の声を直接聴く機会があり、迅速に対応できている。  
一方で、SNS の更新頻度が低く、発信内容や閲覧状況に課題があることや、地域との協働については接点づくりが難しく、具体的な協働の目標や成果が見えにくい現状がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	6	1	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	2	2	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	5	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		3	4	3	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・文化祭の開催やインスタの投稿等で地域や他の方々へどんぐり村の様子を発信している。  
・LINE (WORKS) の活用  
・送迎時など直接 Fa (ご家族) の声を聞く事ができる為反映しやすい。  
・公開避難訓練や文化祭の開催をし地域の方へ案内を呼びかけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・日常を伝える程 SNS の活用、更新が出来ていない。(理由: 更新するような活動や行事が少ない。ご家族がどれだけ見ているか分からない。画像編集の手間。)  
・地域との協働はなかなか接点を作ることがむずかしい。  
・地域協働について、現状は活動の発信や催しものの呼びかけなど出来る限りの対応をしているが、近所周辺同士でさえ希薄なこともあるのに、地域協働の正解、ゴールとは何か分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
SNS の活用を継続し、施設の情報発信に努める。また、電話や LINEWORKS 等、複数ツールを用いてご家族とのスムーズな連携を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日 (14:00 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画  
・既存の研修参加は継続し、課題が生じたり必要性を感じた際に対象の研修へ参加できるよう調整をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
質の向上に向けた取り組みについては、職場内外の研修参加や資格取得に向けた支援が行われており、研修で得た内容は事業所内で共有されるなど、職員のスキル向上に活かされている点は評価できる。一方で、地域連絡会や地域ケア会議への参加は勤務都合を含めた機会の少なさにより十分とは言えず、地域との情報共有やネットワーク構築の面で課題が残っている。また、個人として研修に参加できる回数に制約があることも見受けられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	4	3		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5		2	10
③	地域連絡会に参加していますか		6	2	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか			4	6	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・全体では定期的な研修が開催されている。個人としては参加出来る回数が限られている。  
・可能な限り研修へは参加している。  
・研修は多く実施されている。  
・社内研修に参加した者が事業所内で資料を共有し、不参加の職員へ情報共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域連絡会は勤務等の都合で参加出来ていない。  
・地域連絡会 (地域ケア会議等) へはあまり参加出来ていない。(理由: 地域連絡会に参加する機会が少ない。現状の業務内容に満足しスキルアップする意識が低い。)  
・地域連絡会については参加しているのかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
勤務体制の調整や研修機会の確保を通じて、地域連絡会への参加を増やす。また、各研修を通して職員全体のスキル向上と事業所の質の向上させたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月2日(14:00 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	0人	10人

前回の改善計画  
・スピーチロック等にならないように定例会議等で個別対応の検討を行い、実施評価をする。また、職員同士の会話に対してもプライバシーに配慮していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
人権・プライバシーについては、利用者の希望に沿った対応やスピーチロックにならない配慮が行われており、プライバシー保護や個人情報管理への意識も高い点は評価できる。また、成年後見制度の活用も一部で行われている。  
一方で職員が少ない時間帯などでは声掛けがスピーチロックのようになってしまう場合や、職員間の会話や掲示物におけるプライバシー配慮が十分でない場合がある。個別対応の検討や議題化も不十分な状況が見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない		4	6		10
②	虐待は行われていない	3	7			10
③	プライバシーが守られている	3	7			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している		9	1		10
⑤	適正な個人情報の管理ができている		4	4	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・利用者の希望をききながらそれに応じた対応をしている。  
・スピーチロックにならないようにその都度対応している。  
・立ち上がりが多い方へも特に座ってもらうことはせず、つきそったり自由に歩いて頂いている。  
・ご利用者にスピーチロックをしたとしても行動は繰り返される場合が多いので、ご利用者も介助者もモヤモヤするだけだし、合理的ではないと理解している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・職員が1人しかいない時間帯等は1人で対応しなければいけない為スピーチロックのような声掛けになってしまう事もある。  
・職員同士の会話においてプライバシーが守られていないことがある。(理由:業務効率からプライバシーに配慮しきれないことがある。)  
・個別対応の検討が不足している。(理由:個別対応の議題が上がらない。)  
・掲示物やチェック表においてプライバシーが守られていないことがある。  
・独居の方もFa(ご家族)がいないとか、そういった方がおらず成年後見制度を活用していないから。  
・スピーチロックは良くないと理解はあるが、「座って待ってください」と言い、他を優先せざるをえない場面はある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
人権・プライバシーに関する研修への参加と、定例会議にて個別対応の検討を実施する。職員間の会話や掲示物等にもプライバシーへの配慮を行っていく。

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	3	1	
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

地域かかわりシートの記入内容から、運営・事業所自己評価に対する理解が得られた。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

とくに無し。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

計画に対し優先順位などはあるか。とのご意見を頂く。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

とくに無し。

【改善計画】※後日記入

令和8年度の目標を周知し、1年間取り組んでいく。年度末に評価と振り返りを実施する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1		3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	2		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

外から分からない部分が多いが、事業所の確認出来る範囲でご評価いただけた。

【前回の改善計画】

しつらえや環境改善に対する計画は無かった為、ご意見無し。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

とくに無し。

【今回の改善計画】※後日記入

無し。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		1
1	職員はあいさつできていますか？	3		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

とくに無し。

【前回の改善計画】

外出行事や、地域発信を継続して行う。広報紙やインスタグラムを活用し、職員研修の実績報告も行っていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

インスタグラム等もやっていることは知らなかった。見てみようと思う。とのご意見をいただいた。

【改善計画】※後日記入

引き続き、事業所の活動の様子を SNS や広報誌にて関係者等へアピールしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？		1	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

とくに無し。

【前回の改善計画】

外出行事の企画は継続して行う。個別ケアとして、利用者様と近隣の散歩に出かけ、気分転換や四季を感じられるよう対応していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

私たちにも何か協力できることがあればその時は声を掛けて欲しい。とのご意見をいただきました。

【改善計画】※後日記入

季節行事は継続して行う他、寒暖の状況を見ながら近隣の散歩や外での活動を行っていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		2	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	2		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		1

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <p>とくに無し。</p>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <p>無し。</p>
<p><b>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</b></p> <p>とくに無し。</p>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b></p> <p>無し。</p>

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	1	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

とくに無し。

【前回の改善計画】

定期防災訓練の実施と継続。BCPの見直しを行い、災害時にも事業継続できるように各所の連絡体制や物資の確保等、準備していく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

防災計画や活動に対しては、概ね理解が得られていた。

【改善計画】※後日記入

必要な防災訓練のを実施し、想定される災害（震災・感染等）に対するBCPの見直しも継続して行っていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人青洲会	代表者	理事長 平塚 利子	法人・事業所の特徴	必要に応じて、夕食後の送迎、夕方からの泊まりなど、時間を臨機応変に調整して対応、自宅の生活が続けられるよう支援していきます。洗濯たたみなどの家事作業や庭仕事、趣味活動等、これまで慣れ親しんだ作業に生き生きと取り組めるよう、働きかけています。
事業所名	小規模多機能型 どんぐり倶楽部	管理者	稲葉 洋一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	令和7年度の取り組み目標の事前周知と、適宜話し合いを行い、取組状況の確認を行なっていく。	令和7年4月に職員に対し取り組み目標の配布を行った。年度内に取り組みの振り返りが行えた。	地域かかわりシートの記入内容から、運営・事業所自己評価に対する理解が得られていると感じた。	令和8年度の目標を周知し、1年間取り組んでいく。年度末に評価と振り返りを実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	なし			なし
C. 事業所と地域のかかわり	外出行事や、地域発信を継続して行う。広報誌やインスタグラムを活用し、職員研修の実績報告も行っていく。	文化祭の開催や SNS を通して事業所の活動をアピールしてきた。地域協働の観点からは地域との接点づくりが難しいと感じた。	インスタグラム等もやっていることは知らなかった。見てみようと思う。	引き続き、事業所の活動の様子を SNS や広報誌にて関係者等へアピールしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外出行事の企画は継続して行う個別ケアとして、利用者様と近隣の散歩に出かけ、気分転換や四季を感じられるよう対応していく	季節の外出行事を企画・実施することが出来た。感染症流行時期には企画を見合わせることもあったが、概ね活動出来た。	私たちにも何か出来る事があれば、その時は声を掛けてほしい。	季節行事は継続して行う他、寒暖の状況を見ながら近隣の散歩や外での活動を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	なし			なし
F. 事業所の防災・災害対策	定期防災訓練の実施と継続。BCPの見直しを行い、災害時にも事業継続できるように各所の連絡体制や物資の確保等、準備していく。	定期防災訓練の他、BCPの見直しを行った。また、避難訓練は公開し、地域の参加・見学者を募った。	地域かかわりシートの記入内容から、防災計画や活動に対する理解が得られていると感じた。	必要な防災訓練の実施し、想定される災害（震災・感染等）に対する BCP の見直しも継続して行っていく。

